

詳細は、必ず「補助金実施要領」「留意事項」等をご確認ください。

対象経費	具体的な内容	上限額
<p><b>コロナ疑い患者を診療する救急医療・小児医療・周産期医療のいずれかを担う医療機関（注）の院内感染を防止するために必要な経費</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>注</b> 疑い患者を診療した実績がある、救命救急センター、二次救急医療機関、総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター、小児中核病院、小児地域医療センター、小児地域支援病院等（保険医療機関に限る）</p> </div> <p>【対象期間】 令和5年5月8日から令和5年9月30日に生じた経費 （令和5年5月7日以前から県に登録されている機関は、令和5年4月1日から令和5年9月30日に生じた経費）</p> <p>【特記事項】 ※ <u>令和2年度以降、本事業の活用により整備した簡易診療室等の廃棄・撤去に係る経費も対象となり得る。</u></p> <p>※ <u>過去に本事業を利用済みの機関は、原則として、ア、ウ、エ、カ、ケ、コは補助対象外とする。</u></p>	<p><b>ア 新設、増設に伴う初度設備費</b> ※ 新たに病床を確保する場合に限る。</p>	<p><u>1床</u>当たり 133,000円</p>
	<p><b>イ 個人防護具</b> ※ マスク、ゴーグル、ガウン、グローブ、キャップ、フェイスシールド</p>	<p>1人当たり 3,600円</p>
	<p><b>ウ 簡易陰圧装置</b></p>	<p><u>1床</u>当たり 4,320,000円</p>
	<p><b>エ 簡易ベッド</b></p>	<p><u>1台</u>当たり 51,400円</p>
	<p><b>オ 簡易診療室及び付帯する備品</b> ※ 原則として、<u>以下の経費のみ対象とする。</u> ① 令和4年度までに簡易診療室のレンタル料の支援を受けていた場合の令和5年4月～9月のレンタル料</p>	<p>実費相当額</p>
	<p><b>カ HEPAフィルター付き空気清浄機</b> ※ <u>HEPAフィルター付きで、かつ、陰圧対応可能なものに限る</u></p>	<p><u>1施設</u>当たり 905,000円</p>
	<p><b>キ HEPAフィルター付きパーテーション</b></p>	<p><u>1台</u>当たり 205,000円</p>
	<p><b>ク 消毒経費</b></p>	<p>実費相当額</p>
	<p><b>ケ 疑い患者の診療に要する備品（救急医療機関）</b></p>	<p><u>1施設</u>当たり 300,000円</p>
	<p><b>コ 疑い患者に使用する保育器（周産期・小児医療機関）</b></p>	<p><u>1台</u>当たり 1,500,000円</p>